

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 9 月 5 日 (2019.9.5)

【公開番号】特開 2017-57199 (P2017-57199A)

【公開日】平成 29 年 3 月 23 日 (2017.3.23)

【年通号数】公開・登録公報 2017-012

【出願番号】特願 2016-178997 (P2016-178997)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/436 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 31/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/436

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 31/10

A 6 1 K 47/10

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 7 月 23 日 (2019.7.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ラパマイシンまたはその塩を有効成分として含有する角膜真菌症の予防または治療剤。

【請求項 2】

ポリエチレングリコールを含有する、請求項 1 に記載の予防または治療剤。

【請求項 3】

ポリエチレングリコールの濃度が 80 ~ 99 % (w / w) である、請求項 2 に記載の予防または治療剤。

【請求項 4】

ポリエチレングリコールの濃度が 90 ~ 98 % (w / w) である、請求項 2 に記載の予防または治療剤。

【請求項 5】

ポリエチレングリコールがポリエチレングリコール 400 である、請求項 2 に記載の予防または治療剤。

【請求項 6】

エタノールを含有する、請求項 2 に記載の予防または治療剤。

【請求項 7】

投与形態が結膜下投与である、請求項 1 に記載の予防または治療剤。

【請求項 8】

投与剤型が注射剤である、請求項 7 に記載の予防または治療剤。

【請求項 9】

投与形態が結膜下投与であり；

投与剤型が注射剤であり；

ラパマイシンまたはその塩の濃度が 1 ~ 5 % (w / w) であり；

エタノールおよびポリエチレングリコール 400 を含有し、ポリエチレングリコール 400 の濃度が 90 ~ 98 % (w/w) である、請求項 1 に記載の予防または治療剤。

【請求項 10】

ラパマイシンまたはその塩の濃度が 2 ~ 4 % (w/w) であり；

エタノールの濃度が 4 % (w/w) であり；

ポリエチレングリコール 400 の濃度が 92 ~ 94 % (w/w) である、請求項 9 に記載の予防または治療剤。

【請求項 11】

少なくとも 5 日以上の間隔で投与されるように用いられることを特徴とする、請求項 1 に記載の予防または治療剤。

【請求項 12】

角膜真菌症の起因菌が、Candida 属、Fusarium 属、Saccharomyces 属、Penicillium 属および Aspergillus 属からなる群より選択される少なくとも 1 種である、請求項 1 に記載の予防または治療剤。

【請求項 13】

Candida 属が C. albicans である、請求項 12 に記載の予防または治療剤。